

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2006年11月8日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・
インド・インフラ株式ファンド

第39期（決算日 2026年5月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 券 率	純 資 産 総 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
35期(2024年 5 月20日)	円 20, 274		円 1, 000		% 97. 1	百万円 60, 650
36期(2024年11月20日)	20, 250		0	△ 0. 1	96. 9	75, 712
37期(2025年 5 月20日)	19, 674		0	△ 2. 8	98. 0	72, 447
38期(2025年11月20日)	20, 995		500	9. 3	98. 4	72, 250
39期(2026年 5 月20日)	19, 421		0	△ 7. 5	98. 1	62, 343

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

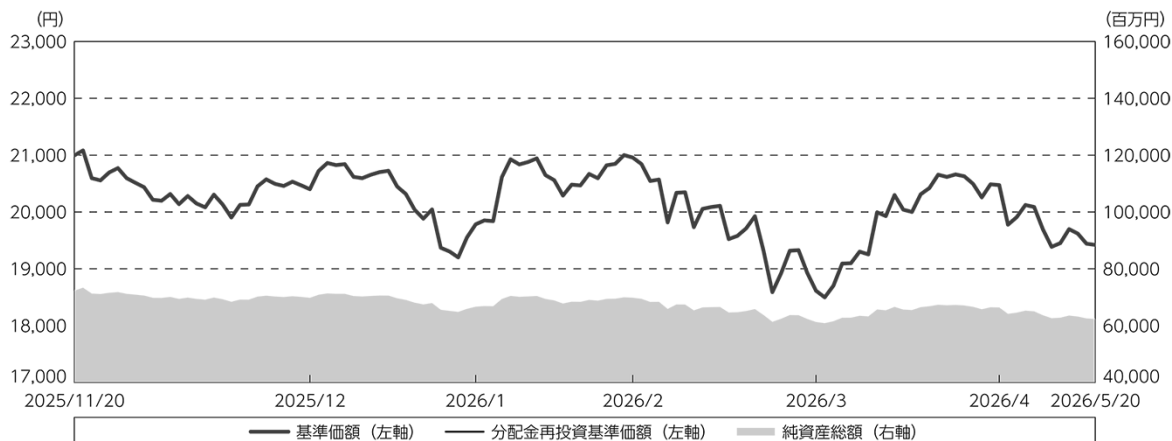
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 券 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年11月20日	円 20, 995		% —	% 98. 4
11月末	20, 772		△ 1. 1	97. 6
12月末	20, 401		△ 2. 8	98. 1
2026年 1 月末	19, 783		△ 5. 8	98. 3
2 月末	20, 958		△ 0. 2	98. 2
3 月末	18, 614		△11. 3	98. 4
4 月末	20, 473		△ 2. 5	98. 4
(期 末) 2026年 5 月20日	19, 421		△ 7. 5	98. 1

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額等の推移について



期 首：20,995円

期 末：19,421円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 7.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・保有株式が下落したこと。
- ・インドルピーが対円で下落したこと。

インド株式市場

期初から2026年2月末にかけては、米印間の関税交渉への懸念やインドルピー安などのネガティブ要因と、連邦予算案発表を受けたインフラ投資拡大への期待や比較的好調だった企業決算の発表などのポジティブ要因が拮抗し、株式市場は狭いレンジ内で推移しました。その後、2月末に米・イスラエルによるイラン攻撃が開始されたことから、地政学的リスクが一気に高まり、エネルギー価格に上昇圧力がかかる中、世界的に投資資金がリスクオフの動きとなり、3月末にかけて株式市場は下落する展開となりました。4月に入り、米・イスラエルとイランの間で暫定的な停戦合意が発表されると、世界の株式市場同様にインド株式市場も反発しましたが、AI相場への資金シフトなどの影響もあり、期末にかけて上値の重い展開が続きました。

為替市場

インドルピーは、期初から期末にかけて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や、貿易収支・財政収支の悪化懸念などを背景に、外国投資家によるインド株式の売却などによる資金流出を受けて対米ドルで下落基調をたどりました。円は、政府の財政政策に関する思惑やエネルギー価格の上昇による貿易収支悪化への懸念に加え、日銀による利上げの先送り観測などを背景に、総じて円安基調で推移しましたが、当局による円買い介入などにより1米ドル＝152～160円のレンジ内で取引され、インドルピーに対しては期中小動きで終わりました。

国内債券市場

政府による積極的な財政運営を巡る思惑から財政悪化への懸念が高まったことや、日銀による追加利上げ観測などを背景に、10年国債利回りは上昇トレンドをたどり、2026年1月後半には2.3%を超えました。その後発表された経済指標が景気鈍化を示したことから、一時利回りは低下しましたが、2月末の米・イスラエルによるイラン攻撃を受けてエネルギー価格に上昇圧力がかかり、円安やインフレ懸念が高まったことなどから、利回りは再び上昇し、期末には2.7%台で終わりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、主力であるアルミニウムや亜鉛価格の上昇を背景に、2026年1-3月期決算で大幅な増収増益を発表したことなどが好感され株価が上昇したVedanta Ltd.の保有などがプラス要因となる一方、3月に会長が突然辞任したことを受けて企業統治への懸念が高まり株価が下落した大手銀行のHDFC Bankの保有などがマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第39期
	2025年11月21日～ 2026年5月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,385

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープンの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇はインド経済にとって大きなネガティブ要因であり、外国投資家による売り越しが続いてきましたが、これまでの株価下落により、インド株式市場の新興国市場全体に対する割高感は過去10年間の移動平均値ベースで見ても解消しつつあります。こうしたことから、今後、エネルギー価格の下落やAIブームの落ち着きが見られれば、出遅れ感の強いインド株式市場への資金シフトが期待されます。

政府は高い経済成長を維持するためにはインフラ整備が不可欠としており、政策に大きな変更はないと考えられることから、インフラ関連銘柄は中長期的に魅力的な投資対象であると考えます。また、政府はインフラプロジェクトへの投資資金を中期的に安定して確保するため、インフラ資産の証券化などによる売却を進めようとしています。一方、インド株式市場は、中東情勢や世界経済の先行きに加え、インド国内のインフレ動向や企業収益の動向、金融・財政政策の動向などに影響を受けると考えられます。政府は、同国経済における国内製造業の割合を高めるために、「生産連動型インセンティブ (PLI)」制度や防衛・電子部門向けの段階的な製造プログラムを発表し、「メイク・イン・インディア」政策に力を入れています。当ファンドでは、資本財・サービス、素材、不動産、交通インフラ、電力関連銘柄に対し、ポジティブな見方をしています。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

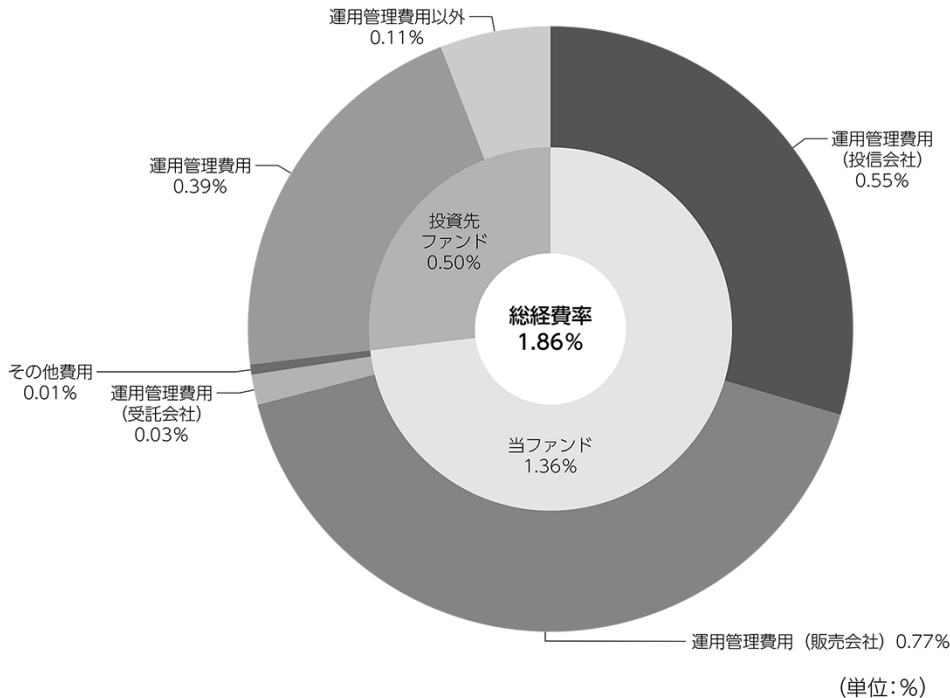
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 135	% 0.669	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(55)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(77)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.001)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	136	0.672	
期中の平均基準価額は、20,166円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



総経費率(①+②+③)	1.86
①当ファンドの費用の比率	1.36
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年11月21日～2026年 5月20日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	米 ド ル 建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・インフラストラクチャー・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			36	1,500	827	34,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月21日～2026年 5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 5月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		千口	千口	千円	%
		99,168	99,168	99,921	0.2
合 計		99,168	99,168	99,921	0.2

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末			
			口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド		千口	千口	千米ドル	千円	%
		10,654	9,863	384,107	61,088,410	98.0
合 計		10,654	9,863	384,107	61,088,410	98.0

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2026年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	99,921	0.2
投資証券	61,088,410	96.7
コール・ローン等、その他	1,988,793	3.1
投資信託財産総額	63,177,124	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 外貨建純資産（61,247,450千円）の投資信託財産総額（63,177,124千円）に対する比率は96.9%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年5月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=159.04円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	63,336,064,718
コール・ローン等	1,829,722,189
投資信託受益証券(評価額)	99,921,951
投資証券(評価額)	61,088,410,501
未収入金	317,980,000
未収利息	30,077
(B) 負債	992,180,977
未払金	159,026,700
未払解約金	378,698,483
未払信託報酬	452,743,172
その他未払費用	1,712,622
(C) 純資産総額(A－B)	62,343,883,741
元本	32,101,884,418
次期繰越損益金	30,241,999,323
(D) 受益権総口数	32,101,884,418口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,421円

(注) 元本の状況
期首元本額 34,413,048,537円
期中追加設定元本額 1,157,908,182円
期中一部解約元本額 3,469,072,301円
(注) 1口当たり純資産額は1.9421円です。
(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

○損益の状況 (2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,232,283
受取利息	4,232,283
(B) 有価証券売買損益	△ 4,571,524,464
売買益	986,738,497
売買損	△ 5,558,262,961
(C) 信託報酬等	△ 454,597,336
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 5,021,889,517
(E) 前期繰越損益金	13,917,590,654
(F) 追加信託差損益金	21,346,298,186
(配当等相当額)	(19,421,581,146)
(売買損益相当額)	(1,924,717,040)
(G) 計(D＋E＋F)	30,241,999,323
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	30,241,999,323
追加信託差損益金	21,346,298,186
(配当等相当額)	(19,421,581,146)
(売買損益相当額)	(1,924,717,040)
分配準備積立金	13,917,590,654
繰越損益金	△ 5,021,889,517

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（19,421,581,146円）および分配準備積立金（13,917,590,654円）より分配対象収益は33,339,171,800円（10,000口当たり10,385円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市場動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

＜参考情報＞

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形 態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表 示 通 貨	米ドル	
運 用 の 基 本 方 針	インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	インドのインフラ関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運 用 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ ¹
	管 理 会 社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申 込 手 数 料	ありません。	
運 用 報 酬	年率0.40%	
管 理 報 酬	年率0.20%程度	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料、現地税務代理人費用等がかかります。	
設 立 日	2006年10月9日	
決 算 日	毎年8月31日	

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）	
形 態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表 示 通 貨	日本円	
運 用 の 基 本 方 針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1－10年債）※ ²	
ファンドの関係法人	委 託 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受 託 会 社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主 な 投 資 制 限	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申 込 手 数 料	ありません。	
信 託 報 酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設 定 日	2002年8月26日	
決 算 日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※¹ ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※² ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2025年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2025年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	7,758,505
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却に係る実現純利益（損失）	46,958,751
	<u>54,717,256</u>

費用

純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の再評価に係る未実現純利益（損失）	(87,213,628)
外国為替取引に係る実現純利益（損失）	(44,185)
外国為替取引に係る未実現純利益（損失）	(735,085)
運用報酬	(2,147,511)
保管銀行費用	(264,410)
管理費用	(127,356)
計算事務費用	(93,953)
銀行手数料	(18,732)
取引手数料	(21,595)
免許登録費用	(7,300)
専門家報酬	13,720
監査報酬	(50,410)
その他費用	(11,519)
売買委託手数料	(855,733)
	<u>(91,577,697)</u>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	(36,860,441)
----------------------------	--------------

税金	4,355,672
----	-----------

償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の減少額	<u>(32,504,769)</u>
-------------------------	---------------------

投資有価証券明細表

2025年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
ABB INDIA LTD	83,691	5,487,024	4,762,261	0.91%
Ambuja Cements Ltd	1,441,995	8,572,676	9,244,378	1.76%
Adani Ports & Special Economic Zone Ltd	506,535	6,564,206	7,569,363	1.44%
AIA Engineering Ltd	188,068	8,283,123	6,542,778	1.25%
Axis Bank Ltd	1,141,019	12,447,514	13,575,117	2.59%
Bharti Airtel Ltd	1,219,518	14,363,637	26,219,566	5.00%
Bharat Forge Ltd	208,657	2,325,346	2,628,538	0.50%
Brookfield India Real Estate Trust	790,754	2,553,793	2,875,922	0.55%
Bajaj Finserv Ltd	229,228	4,386,447	4,992,838	0.95%
Bharat Petroleum Corporation Ltd	1,884,300	5,345,345	6,610,495	1.26%
Brigade Enterprises Ltd	767,881	4,622,469	8,068,522	1.54%
Container Corporation Of India Ltd	151,705	1,057,213	910,647	0.17%
Chalet Hotels Ltd	397,317	1,520,005	4,569,186	0.87%
Cholamandalam Investment And Finance Company Limited	214,516	2,994,230	3,469,073	0.66%
Embassy Office Parks Reit	1,635,645	6,817,665	7,221,486	1.38%
Siemens Energy India Limited	121,652	3,236,714	4,673,384	0.89%
Easun Reyrolle Ltd	1,499,989	2,257,149	—	0.00%
GEI Industrial Systems Ltd	872,000	1,227,946	—	0.00%
Grasim Industries Ltd	93,324	2,315,258	2,948,503	0.56%
Gateway Distriparks Ltd (Formerly Gateway Rail Freight Ltd)	3,532,425	1,611,269	2,589,063	0.49%
Gujarat Gas Ltd	720,954	4,757,146	3,442,224	0.66%
HDFC Bank Ltd	2,646,364	23,689,659	28,665,223	5.47%
HDFC Standard Life Insurance Company Ltd	633,343	4,504,922	5,565,904	1.06%
Hindalco Industries Ltd	1,606,850	9,191,474	12,875,629	2.46%
Icici Bank Ltd	1,991,135	19,786,571	31,680,867	6.05%
Indian Hotels Company Ltd	199,250	1,717,312	1,720,191	0.33%
IndusInd Bank Ltd	412,442	6,707,786	3,471,781	0.66%
Inox Green Energy Services Ltd	411,651	291,436	687,823	0.13%
Inox India Limited	226,639	1,933,568	2,887,054	0.55%
Inox Wind Ltd	652,582	277,530	1,025,990	0.20%
Indian Oil Corporation Ltd	2,905,519	4,501,430	4,518,448	0.86%
IRB Infrastructure Developers Ltd	3,911,540	2,161,862	1,910,101	0.36%
JK Cements Ltd	61,982	2,136,786	4,900,980	0.94%
JK Lakshmi Cement Ltd	391,248	3,927,338	4,102,360	0.78%
JSW Steel Ltd	1,041,881	8,823,140	12,175,048	2.32%
Cummins India Ltd	341,947	10,504,844	14,892,849	2.84%
Knr Constructions Ltd	903,000	2,246,757	1,962,002	0.37%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Kalpataru Projects International Ltd	615,536	6,763,849	8,751,192	1.67%
Larsen & Toubro Ltd	1,066,288	35,935,547	43,706,795	8.34%
Mindspace Business Parks REIT	310,528	1,295,475	1,495,141	0.29%
M. M. Forgings Ltd	212,004	838,996	762,213	0.15%
NCC Ltd	1,366,594	2,965,638	3,181,150	0.61%
NMDC Ltd	7,881,497	6,584,784	6,172,320	1.18%
National Securities Depository Limited	124,954	1,145,430	1,761,062	0.34%
NTPC Ltd	9,114,746	32,035,058	33,983,921	6.48%
Nexus Select Trust REIT	2,333,349	3,779,602	3,937,547	0.75%
Oil India Ltd	1,401,056	5,034,435	6,224,513	1.19%
Oil & Natural Gas Corporation Ltd	3,228,445	10,910,698	8,588,593	1.64%
Prestige Estates Projects Ltd	120,758	840,402	2,146,805	0.41%
Phoenix Mills Ltd	147,146	1,385,149	2,517,773	0.48%
Power Grid Corporation Of India Ltd	6,187,935	20,382,045	19,387,615	3.70%
Reliance Industries Ltd	2,149,953	34,806,357	33,214,226	6.34%
SBI Cards & Payment Services Ltd	274,845	2,574,325	2,513,767	0.48%
SBI Life Insurance Company Ltd	217,569	3,363,816	4,471,424	0.85%
State Bank Of India	712,040	6,482,534	6,504,303	1.24%
Schaeffler India Ltd	66,565	2,351,772	2,930,329	0.56%
Siemens Ltd	85,182	2,240,637	2,970,608	0.57%
Sobha Ltd	193,699	1,906,796	3,152,933	0.60%
Shree Cement Ltd	6,702	1,981,647	2,233,329	0.43%
Star Health & Allied Insurance Company Ltd	514,128	3,384,464	2,615,076	0.50%
Tata Steel Ltd	13,472,754	21,228,127	23,690,812	4.52%
Thermax Ltd	55,784	2,094,185	2,036,766	0.39%
Ultratech Cement Ltd	123,822	11,729,943	17,815,425	3.40%
Vedanta Ltd	3,247,340	16,916,951	15,548,911	2.97%
Voltas Ltd	211,234	2,739,350	3,303,710	0.63%
VRL Logistics	1,139,526	4,488,018	3,426,306	0.65%
		<u>453,334,620</u>	525,000,159	100.17%
その他負債			(922,744)	-0.17%
純資産			<u>524,077,415</u>	100.00%

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 2 月26日～2026年 2 月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 23	% 0. 220	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0. 143)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0. 013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0. 233	
期中の平均基準価額は、10, 325円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 746,500	千円 735,750	% 97.6	% —	% 21.6	% 50.6	% 25.4
合 計	746,500	735,750	97.6	—	21.6	50.6	25.4

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第351回利付国債 (10年)	0.1	60,000	58,455	2028/6/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	56,806	2029/3/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	164,675	2030/6/20
第378回利付国債 (10年)	1.4	55,000	52,088	2035/3/20
第13回利付国債 (30年)	2.0	42,000	42,328	2033/12/20
第14回利付国債 (30年)	2.4	66,000	68,330	2034/3/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	55,048	2026/3/20
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	136,094	2026/9/20
第117回利付国債 (20年)	2.1	99,500	101,920	2030/3/20
合 計		746,500	735,750	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。